

# 早島民報

発行

日本共産党早島支部

早島町早島 1360-7

電話 482-2886

第14号

2006.5.

政治革新の道しるべ  
現実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月2,900円  
日曜版●月800円

お申し込みは

須増まで 482-2886



日本共産党早島町議会議員

須増伸子

## 3月議会報告

### 乳幼児医療費無料化 就学前まで拡大 (10月より)

早島町議会の3月議会で、新年度の予算等がきまりました。とくに、乳幼児医療費の無料化制度がこの4月から入院のみ就学前まで無料化が実現していましたが、須増町議の質問にたいし町長は10月から通院も就学前まで窓口無料の制度の拡大を約束しました。

### 低所得者の介護保険料の減額実現

また、介護保険料の改正が行われ、平均保険料が3840円と値上げされましたが、低所得者の保険料は減額を実現することができました。

町民一人ひとりの願いに心を寄せて、  
住みよい早島を



3月議会での須増伸子町議の一般質問の要旨を紹介します。

## 歳入、歳出一体の 財政運営を

**問**い―町長は、町の財政規模を35億円まで削減することを、財政再建の目標としています。目標とするなら歳入もあわせて改革が基本ではないでしょうか。

現に平成17年度は保育料・下水道料金の値上げ、ゆるびの舎、公民館等の施設の有料化や使用料値上げ、さらに業者ゴミの料金値上げで、一億円弱が住民負担となりました。

そのため町長の示された「自立のむけての財政再建六カ年計画」で試算されている歳入見込み36億円をかるく2億4千万円は上回り、基金残高が前年比4千万円増えました。

身の丈にあった財政運営というなら歳入、歳出を一体にとらえ、今後の財政運営の目標の設定を検討していただきたい。ま

た、歳出予算の枠を設定する目標では、補助をとって事業をするような歳入を増やす努力ができないのでは。

**町長**―歳入にあった改革を考え、35億円が妥当と判断している。財政再建六カ年計画の二期に入り「静から動へ」準備を進めていきます。

## 子育て支援について



**問**い―乳幼児医療費無料化制度で年齢を通院についても就学前までに拡大していただくことを要望いたします。

**町長**―今年十月から通院も就学前まで無料とします。

## 障害者自立支援法について

**問**い―この法律で、障害者の自己負担が大幅に増えるのではなく、サービスその

ものの利用方法も大幅に変わります。障害者とその家族は不安と困難をかかえています。ぜひ町においては、対象となる方々にこころをよせた対応をお願いします。

小規模作業所つばさ工房に新制度にあわせて発展的な援助をまずお願いします。

**町長**―つばさ工房の自主性を尊重しながら、三障害の方が利用できるセンターにするため努力していきます。

## 介護保険の改正について

**問**い―今まで要介護1、2と判定されていた人のほとんどが、保険給付からはずされ、予防給付になりました。これは介護を受けている方が今までどおりのサービスが受けられないことが危惧されています。現在のままのサービスを維持していただくために、町の政策的援助を求めます。

**町長**―介護予防にも力をいれ、医療、介護、福祉を一体に考え健康づくりをすすめます。



子ども、お年より、障害者、環境が大切にされるまちづくりを  
願い、皆さんとともにがんばります。

## 皆さんと力を合わせて実現しました。

### 子育て支援

- ◇ 保育園の待機児解消をもとめ、金田保育園の開設
- ◇ 乳幼児医療費無料化の年齢拡大が就学前まで
- ◇ 今年度から小学校耐震対策

### 障害者支援

- ◇ 情緒障害児学級の設置

### 高齢者支援

- ◇ 介護保険料の低所得者の減額実現

### 合併問題

- ◇ 町議6人ともに自立の会で合併反対をつらぬく



「人間裁判」の碑前に誓う

## 障害者が人間らしく生きる権利を 須増伸子

今年4月、重度の人ほど負担が重くなる、障害者とその家族にとってはとても過酷な障害者自立支援法がスタートしました。

町内にお住まいの透析患者さんも、新聞への投稿で「命綱が断ちきられた思いだ」と語られていました。さらに岡山県は、この国の制度にあわせ、県で実施していた障害者医療費無料化の制度に一部負担を導入しようとする



人間裁判の碑に赤坂てる子県議とともに献花する須増町議

しています。国がきびしいなら県や市町村は弱者に心を寄せてその防波堤になつていくことが大切ではないでしょうか。

NPO法人

### 「朝日訴訟の会」が発足

今年2月に「NPO法人朝日訴訟の会」が発足されました。私も理事として参加しています。朝日訴訟といえは、憲法25条の人間らしく生きる権利を守る責任を国に問うた裁判です。

すでに三十有余年も前の運動ですが、現在の弱者切り捨ての政治をみると、生存権を守り、みんなに等しくあたたかい政治の光を当てるためにがんばった朝日訴訟の精神の今日的意義を痛感します。

朝日茂さんの命日に、あたたかい社会的連帯で、弱肉強食の社会に反撃していきなさいと、人間裁判の碑前に誓いました。

## 町政アンケートにご協力ください

日本共産党早島支部では、町民一人ひとりの願いに心をよせて、皆さんの声を町政に届けてがんばります。ぜひ、ご意見ご要望をお聞かせください。

アンケートは封筒に入れて切手を貼らずに投函してください。